



# 成人式実行委員

野々市市の成人式は、対象者の中から有志が「成人式実行委員会」を組織し、自分たちの手で運営しています。今年のメンバーは総勢 22 人の皆さん。事前の打ち合わせやアトラクションの準備、当日の進行など、力を合わせて進めました。



# アトラクション

## 小中学校の思い出を振り返る

式典前に『20年のあゆみ』と題した動画を上映しました。成人式実行委員が小中学生の頃の懐かしい写真を卒業アルバムなどから選定し、それに合わせたナレーションを作成・収録しました。

## 先生たちからのメッセージ

小中学校時代の先生からのビデオメッセージが届きました。これは、成人式実行委員が先生たちを訪問し、撮影・編集したものです。先生からは「周りの仲間を信じ、助け合いながら頑張ってほしい」と激励のメッセージが送されました。

令和 6 年

# 成人式

## はたち —二十歳のつどい—



1月7日(日)野々市小学校体育館で成人式～二十歳のつどいが開催されました。今年の対象者は男性524人、女性289人の計813人。例年は文化会館フォルテを会場に開催していますが、今回は令和6年能登半島地震の影響でフォルテが使用できず、急きよ野々市小学校体育馆へ会場を移しての実施となりました。

式の冒頭では、令和6年能登半島地震の犠牲者へ黙とうがささげられました。

# 新成人のことば

**新成人代表  
上本 真嘉さん**  
現在私たちちは、社会の中でたくさんの人に支えられています。日々を過ごしています。二十歳を迎え、すでに就職している方や、学業に励んでいる方など立場はさまざまですが、一人一人が社会の一員として自分の行動に責任を持ち、このたびの地震の被害に遭われた方々に思いを巡らせ、常に相手の立場に立ち、心遣いのできる人となれるよう取り組んでいきます。そして、今までの20年間、お世話になつた全ての方々とのつながりを大切にして、感謝の気持ちを胸に、これまでの経験を生かし、未来に向かつて歩んでいくことを誓います。



# 市長のことば

デジタル社会が進展しても、目の前の人と人とのつながりが人生では大切であるということ、それは今回の能登半島地震で、全ての人が感じたことではないかと思います。AI技術やSNS、テクノロジーが進化しても、思いやりや助け合い、友情や家族の愛、他者へのリスクペクトというものが、人生に必要不可欠であるということ、皆さんにとつては、これからも周りの大切な方々との絆を大切にし、共に成長していかれることが、豊かな人生を築くうえで大事だと私は思っています。「自分はこれからどう生きるのか」をあらためて自らに問いかけ、人生を歩んでもう一度ください。皆さんの活動を大いに期待しています。



新成人に聞く！

## 着物コーディネート インタビュー

毎年移り行く成人式スタイルのトレンド。  
和服のレトロさと、今ドキっぽさと、自分っぽさと。  
こだわりの詰まった晴れ姿を取材しました！



河原來愛さん  
(左・野々市中出身)  
みんなと被らないようにしながらも、派手過ぎず、古風な雰囲気も意識してセレクトしました。

濱田楓さん  
(右・野々市中出身)  
髪色に合わせ、金を散りばめて全身コーディネート。最後はお母さんと一緒に選びました。

松村優玖さん  
(布水中出身)  
着付けはお母さん、ラメをあしらった髪のセットはお父さんがしてくれました。出来に120%満足しています！



後ろ姿も目立つてます



釜親憧さん  
(左・布水中出身)  
お母さん姉妹も着た振り袖に合わせ、帯とカバンは自分らしいものを選びました。ヘアアレンジには生花を使ってます。

堀口亜樹さん  
(右・布水中出身)  
パッと見て気に入った振り袖を選びました。前撮りとは違う雰囲気も楽しみみたいと思い、学生時代によくしていたポニーテールをもとにしたヘアスタイルにしました。



## フォト リポート

色鮮やかな振り袖や羽織はかま、ビシッと決めたスーツなど、きらびやかな服をまとった皆さん。旧友との再会を喜び、思い出話や近況報告に花を咲かせました。そんな喜びあふれる二十歳の皆さんの様子を写真で紹介します。

載せきれなかった写真は市ホームページ広報アルバムにも掲載しています。



広報アルバム